

【御結納の準備】

●日取を決める

日取は一般的に挙式の3～6ヶ月前のお日柄の良い日に行います。

当日は、本人たちのほかに、両家のご家族も立ち会う場合がほとんどです。

出席者の都合を良く聞き、決めましょう。

●形式と準備品

仲人を立てるか、正式か略式か顔合わせのみか、式は自宅かレストランかなど、地域により風習も違うので、両家で調整して準備を進めましょう。

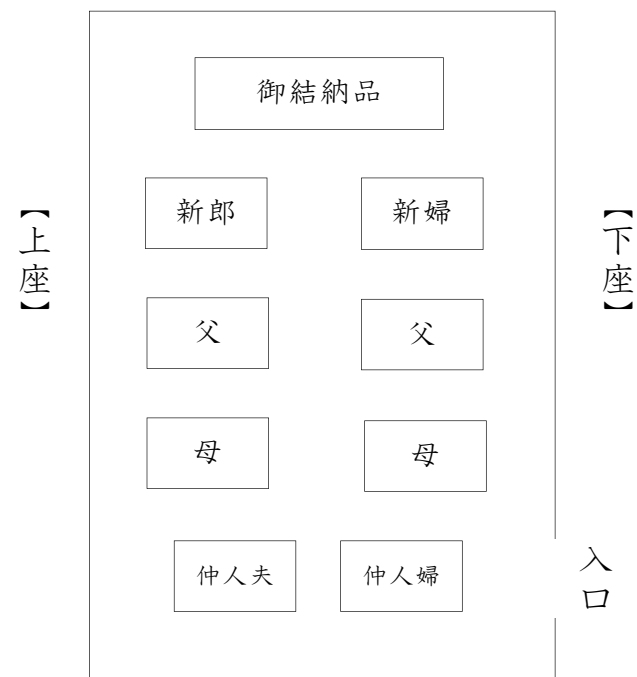
新郎側	新婦側
結納飾り、婚約指輪、結納金	受書、記念品
広蓋or切手盆・掛ふくさ・風呂敷 (結納金をお渡しするのに使用)	受書は新郎側から結納金を頂いた盆で お返りする
手土産(鯛・清酒・菓子折等)	引出物(菓子折・記念品等)

●当日の服装

最近は略装も多いです。出席者のバランスが大切なので、よく相談しましょう。

	正装	略装
新郎	略礼服	略礼服・ダークスーツ
新婦	振袖	付下げ・訪問着・スーツ・ワンピース
父	紋付袴・モーニング	略礼服
母	留袖	付下げ・訪問着・スーツ・ワンピース
仲人(男)	紋付袴・モーニング	略礼服
仲人(女)	留袖	付下げ・訪問着・スーツ・ワンピース

●着席位置



ご結納の式順

(十一時に到着後、新郎側は会場に入り結納品を飾ります。新婦側はロビーでお待ちします。)

一、両家一同着席 (十一時三十分)

司会「只今より、結納の儀をとりおこないます。それでは、**ご新婦様より桜湯をお願い致します。**」

二、桜湯

(新婦が、新郎、お父様、お母様の順に桜湯を出します。※新婦側へは仲居さんが出します)

司会「**ご新郎様、目録の贈呈をお願い致します。**」(桜湯を仲居さんが片付けてから)

三、目録の口上

(新郎が中央に飾った目録を取り新婦の前に移動し差し出します。)

新郎「**本日は、結納を納めに参りました。幾久しくお納め下さい。**」

新婦「**ご結納、誠にありがとうございます。幾久しくお受け致します。**」

司会「**ご新婦様、受書の返納をお願い致します。**」(新郎が着席してから)

四、受書の返納

(新婦が受書を新郎に差し出します。※新郎側が準備している場合は式の前に渡しておく)

新婦「**結納の受書でございます。お受け取り下さい。**」

新郎「**誠にありがとうございます。確かにお受け致します。**」

司会「**固めの盃を行います。**」(新婦が着席してから)

五、固めの盃

(新郎と新婦が結納飾りの前に座ります。)

(仲居さんが新郎、新婦、**ご両親の順に御神酒を注いで回り、固めの盃を交わします。**)

司会「**ご新郎様、婚約指輪の贈呈をお願い致します。**」(盃を仲居さんが片付けてから)

六、婚約指輪の贈呈

(新郎は新婦の薬指に指輪をはめます。皆様の祝福(拍手)を受けます。)

七、締めのご挨拶

司会「**これをもちまして、**ご両家の結納の儀めでたく取り納めました。****

ご両家の末永き弥栄を、祈念申し上げます。誠にありがとうございます。」

八、記念写真撮影

九、ご祝宴 (十二時)

(お二人から感謝や決意のご挨拶をします。※その前に両家の家族・親族紹介をしても良いです)

(新婦のお父様よりお礼のご挨拶をのべ、乾杯します。)